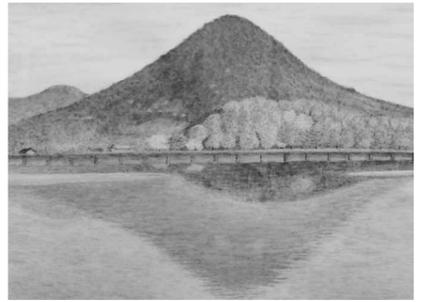


DIRECTFORCE の情報紙

DF NOW

2013年4月発行 NO.19

詳しくはDFホームページ <http://www.directforce.org> をご覧ください



「讚岐富士 春影」 合田隆年氏 (美術同好会)

一般社団法人ディレクトフォース 〒100-6919 東京都千代田区丸の内2-6-1 丸の内パークビルディング19F 電話03-5288-7560 発行人・真瀬 宏司 印刷・(株)ケーブプリント

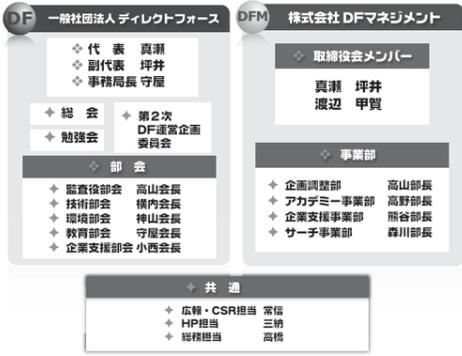


図1 新組織 (第11期2013/3/1~)

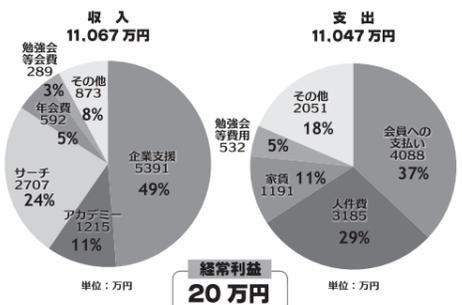


図2 11期収支見直し (DF+DFM)

活動参加者数

勉強会出席者	320名	参加率: 60.3%
講演講演講師	94名	
監査役部会員	171名	
環境部会員	39名	
技術部会員	67名	
理科実験グループ員	46名	
企業支援の会員	14名	
食と農業研究員	18名	
観光立国研究会員	10名	
同好会参加会員	264名	参加率: 49.7%
なんらかの活動に参加会員	467名	参加率: 87.9%

2013年2月28日現在 実働会員数 531名

図3 会員の活動状況

一般社団法人ディレクトフォース第23回会員総会 会員の満足度向上を志向し、 会員数増大による組織の拡大と強化をめざす

第11期上期の会員総会が、3月27日に学士会館において、会員約150人出席の下開催されました。真瀬代表理事が上期のレビューと下期に向けた計画、各部会、事業部の活動状況を発表し、社会貢献活動を更に充実させ会員の満足度を上げることにより、組織を強くしていくの方針説明がありました。本稿では11期上期レビューと下期計画を中心に述べています。各部会および事業部の活動状況については、ホームページを参照してください。

1. 財務状況

第11期上期(平成24年9月~25年2月)のDFプラスDFMの収支内訳は、収入が5,821万円、支出が5,993万円で差し引き経常利益は172万円の赤字となった。収入は昨年同期と比べ全く同じである。



会員の満足度向上と
会員数増大を訴える
真瀬代表

内訳では、年会費、勉強会会費、アカデミー事業部の売上が昨年とほぼ同じで、企業支援事業部の700万円の売上減をサーチ事業部の売上増でカバーした形となっている。サーチの売上のうち800万円程度が成功報酬で増加しており、成功報酬の読みが売上計画策定上難しい問題となっている。

2. 会員の活動状況

この状況調査の期間は昨年1月から12月の1年間で、本年2月末の実働会員数531名を基準に活動参加状況を調べたものである。

ポイントとしては、なんらかの活動に参加いただいた会員は467名で参加率が88%であること。12%程度の方が全く参加されていない。前回は89%なのでほとんど差がない。

上させるために、いろいろな場面でお手伝いする人を増やしたことによる増加であり、これも必要な経費と考えている。家賃は100万円ほど減っている。大きいのは勉強会の費用で、前回の総会を昨年10月10日に開催したが、10周年記念のイベントとして会費を無料にしたことにより約140万円増加している。

3. 月例講演・交流会

これまで「勉強会」と称してきたが、名称として「講演会」がふさわしいのではないかと意見があり、今後は講演・交流会と呼ぶようにする。

この状況調査の期間は昨年1月から12月の1年間で、本年2月末の実働会員数531名を基準に活動参加状況を調べたものである。

ポイントとしては、なんらかの活動に参加いただいた会員は467名で参加率が88%であること。12%程度の方が全く参加されていない。前回は89%なのでほとんど差がない。

- 昨年区切りを終えた第1次運営企画委員会ではDF Valueとして次の5つの項目を確認しました。
- ① 社会に役立つ活動
 - ② 会員相互の交流
 - ③ 希望する会員に雇用機会の提供
 - ④ 自主運営の原則に基づき、事務局のしっかりしたサポート
 - ⑤ 活動原資として会費に加え、会員自らが稼ぐ対価を充当

これを受けて第2次委員会では、DF Valueを向上させるため、DFの各種活動に積極的に参画しておられる方々を新たな委員に加えて昨年11月にスタートし、本年9月までの間、毎月開催していく予定です。

最初にこの委員会の目的と位置づけを明らかにしておきます。本委員会の目的は「会員の皆様の満足度を向上させる」ことであり、これを実現するための各種施策を提言する役割を担っています。



第2次委員会がスタートして5回の会合を開催しました。まず課題として講演・交流会の講師選定と会員増強対策について議論を進めました。その結果、総会でも紹介しましたとおり本年12月までの講師は決定しました。

もう一点の会員増強策についても議論を進め、2月から「会員増強月間」をスタートさせました。会員増強策と見やご提言をいただきたいと考えております。

DF運営企画委員会を置いてDFの活動のあり方を考えていただいている。3月から組織の変更があり、DFの方では坪井さんに代り事務局長に守屋さんが就任、浅野さんを中心に第2次運営企画委員会をスタートさせている。

事業部ではアカデミー事業部長が守屋さんから高野さんへ変わっている。坪井さんには今までどおり、DFの副代表とDFMの取締役をお願いしている。

期は40万円であった。売上のウエイトが一番大きい企業支援事業部の上期の売上ウエイトが全体の48%だったのを下期49%に引き上げる計画なので大変であるが、アカデミー事業部、サーチ事業部が上期実績ですべて年間計画の5割を超えているので何とかこの線に沿って進めていきたいと考えている。

支出見直しでは、会員への支払いは全体の37%で昨年より増加させている。家賃は若干の減少、あとは人件費をどのようにバランスをとるかであるが、何とか組織体として黒字を確保したい。

4. 会員の推移

2008年からの会員数は、なかなか増加しない状況が続いている。2010年に585人に達したが、本年3月現在では528人という現状である。

今期は入会、退会のバランスを改善したいと考え、今年の2月に会員増強月間を設け、会員皆様にご協力をお願いしている。

会員年齢の推移を今期の上期でみると、入会された方の平均年齢は65・6歳、退会された方は70・1歳、そして現在の会員平均年齢は68・4歳となっている。

前半の4カ月で新規入会の会員が30人で、2月8日に会員増強月間設定をアナウンスしてから3・4月の2カ月で30人の入会が決まっている。会員皆さまお一人おひとりの会員増強に向けたご協力の成果と考えている。

は、単に会員数を増やすことではなく、DFの活動自体の充実・強化を図り、そのプレゼンスを内外において高めるとともに、会員の満足度を上げることを通じてこそ「会員増強」が実現できるの考え方に立っています。そのため、活動の全体フレームを固め、その設計した上で、今後、個々の課題について取り組んでいきます。

「会員の満足度の向上」を実現するために、本委員会で討議すべき課題等について会員の皆様からのご提言を期待します。

5. 運営の仕組みと組織

運営の仕組みは大きくは変わっていないが、一般社団法人ディレクトフォースと株式会社DFマネジメントの間に

6. 11期収支見直し

11期の見直しとしてDFとDFM併せて収入11,067万円、支出11,047万円、経常利益20万円の黒字をめざしている。ちなみに昨年同



会員約150名の参加を得て賑々しく開催された会員総会

7. 会員数の拡大について

会員の数を増やすことだけ追い求めるのではなく、会員の皆さまに参加して良かったと実感していただき、皆さまの口コミによって、質を伴いながら会員数を増やしていくことをめざしている。

関西DF会を今期中に立ち上げることを計画している。現在、関西会員が6名いるが、これに加えて30名、40名と増やしていきたい。

関東における素晴らしいDFの存在を関西にもPRしていきたいと考えている。今期中に登録会員数1000名を達成するようご協力をお願いしたい。

教育部会・授業支援の会 「出前授業」を千葉県立匝瑳高校で実施

DFでは、会員の豊富な経験や知見を生かした理科実験教室や大学の講義や企業での講演などの活動をしてきたが、この度、小学生、中学生、高校生を対象にして学校に出かけて行って授業をする「授業支援の会」が本格的に活動を開始した。

その第1回の「出前授業」が平成24年11月2日、千葉県立匝瑳高校で開催された。匝瑳高校は千葉県教育委員会が推進するグローバル人材事業実践校として選ばれた県立9校のうちの一校。

全校生徒約960人、教員約50名を前にして「グローバル人材育成」をテーマにパネルディスカッション形式で行われた。



活発な質疑が展開された第1回「出前授業」の会場

基調講演を向坂さんが行い、パネリストとして鶴岡さん、田部さん、藤村さんに加えて生徒代表2名も参加。約40分のパネラーの議論の後、約50分間、会場の生徒からの質問を受けた。活発に質問が続き、途中で打ち切るほどだった。

その後の生徒、教員からの反応も好評で、日ごろDF会員のような経験をした人と接する機会がなく、大変貴重な経験だったとの評価が多かった。

総体的に見て、今回の「出前授業」は大成功だったといえる。今後も「働くことの大切さ」「国際社会への対応」「理科・科学への関心」「環境問題への対応」などをテーマに、「出前授業」を積極的に展開していきたい。

会員の方で、この「出前授業」に関心のある方は、事務局へお申し出ください。

再就職者懇談会

2月4日(月)午後3時～5時、DF大会議室にてDFを通じて再就職された方々7名と事務局員4名との懇談会を開催した。

講演・交流会レポート

詳しい内容はホームページをご覧ください

10月講演・交流会 「はやぶさ開発秘話」



安部隆士氏
宇宙航空研究開発機構教授
大学研究機関連携室室長

11月講演・交流会 「旗にまつわるトリビア」 おとなのための旗の話



越川頼知氏
DF会員
日本旗章学協会事務局長

12月講演・交流会 「長寿社会を生きる」



秋山弘子氏
東京大学高齢社会
総合研究機構特任教授

1月講演・交流会 「2013年 世界の潮流と 日本経済」



菅野雅明氏
JPモルガン証券株式会社
チーフエコノミスト

2月講演・交流会 「むら社会か、国際かこれからの ニッポンは？ー偏見に満ちたアメリカ人の日本論」



デイヴィッド・シャピロ氏
DF会員
流通経済大学教授

3月講演・交流会 「外務省を辞して、スーダンNGO 活動ーやむにやまれぬ大和魂」



川原尚行氏
NPO 法人
ロシナンテス理事長

に伴う苦労などをご説明いただき情報共有を図ることができた。

また再就職活動の活性化に関して、DFは優秀な人材の宝庫であることをもっと分かりやすくアピールしたらどうか、などの採用企業の視点からの意見が出された。

懇談会に引き続き夕刻から、より打ち解けた雰囲気懇談会を実施し、参加者相互の理解を深めることができました。

新入会員情報連絡会・懇談会

新入会員のアフターフォロー

新入会員がDFで活躍する場を少しでも早く見つけ、DFの良さを実感してもらいたいとの思いから、グループに分けた新入会員情報連絡会・懇談会を昨年10月から始めた。24年1月から12月までに入会された方を対象としてこれまで3回開催。まだ現役のため都合がつかない方が多く、参加数は表の通り予定したほどではないが、出席者からはDFの活動が良く理解できたとの声があった。

	実施日	出席人数
第1回	24年10月1日	10名
第2回	24年10月15日	12名
第3回	25年1月21日	9名

事務局からは、いま取り組んでいる事業活動と部会活動を説明し、関心を持った活動に参加すること、同好会のいずれかに加入することを薦めている。

昨年1年間で入会された方は69名だが、本年2月現在で何らかの活動に参加された人数は15名である。比較的関心が高い活動は、企業支援活動、理科実験など教育部会活動となっている。

組織を強くするためには新会員への働きかけが重要と受け止め、今後も時期を考慮しながら継続実施していく。

講演・交流会の今後の予定

4月講演・交流会 25日(水)

「税と社会保障の一体改革」(仮題)
田近 栄治氏
一橋大学教授

5月講演・交流会 27日(月)

「若者の教育や雇用について」(仮題)
玄田 有史氏
東京大学教授、希望学の第一人者

6月講演・交流会 12日(水)

「未定」
中田 康雄氏
カルビー株式会社元社長

7月講演・交流会 29日(月)

「東京国立博物館と書の魅力」(仮題)
島谷 弘幸氏
東京国立博物館副館長

9月講演・交流会 17日(火)

「アミノ酸の話」or「味の素グループのグローバル戦略」(仮題)
山口 範雄氏
味の素(株)代表取締役会長

10月講演・交流会 総会 15日(火)

「未定」
岩田 公雄氏
読売テレビ放送報道局特別解説委員

11月講演・交流会 19日(火)

「未定」
橋本 大也氏
IT起業家、データセクション(株)取締役会長、デジタルハリウッド大学准教授、多摩大学大学院客員教授

12月講演・交流会 18日(水)

「未定」
田中 伸男氏
国際エネルギー機関前事務局長、財団法人日本エネルギー経済研究所特別顧問

同好会ニュース

囲碁同好会

平成24年7月1日、DF囲碁大会を開催。20名の実力棋士が参加。ブロック別の優勝者は藤井3段と本田徹初段の二人でした。



勢ぞろいした実力棋士の面々

ゴルフ同好会

第17回DF親睦ゴルフ大会は平成24年11月21日習志野カントリークラブ K I N G コースで開催。梅里さんが優勝、長谷さんがベストスコア。

【成績】

優勝	梅里泰正	44	46	90	H D
16・8	N E T 73	2			
2位	長谷礼三	43	44	87	H D
10・2	N E T 76	2			
3位	伯田頼彦	48	44	92	H D
15・6	N E T 76	4			

蕎麦打ち・コーラス同好会

平成24年12月26日、千代田区高齢者センターで恒例の「年越しそば試食会&音楽会」を開催。多くのお年寄りにそばと音楽を楽しんでもらった。



コーラス部 Sing Joyの美声に聞き入るお年寄りたち

8名の有志で110名分のそばを打ち上げる

美術同好会

平成24年10月29日～11月4日、第5回彩遊会作品展を京橋の「ギャラリーくはた」で開催。21会員より45点が出展され、1週間の来場者数はこれまで最高の703名に。



会場には多数の鑑賞者が来場

麻雀同好会

平成24年12月7日、DF麻雀大会を開催。24名の雀士が参加。見事優勝の栄冠を勝ち取ったのは中山芳博さん。なお、年間優勝は加藤誠一郎さん。



DFプロゴルファーの集まり



大会優勝者の中山さん(左)と年間優勝者の加藤さん

新入会員紹介

入会者についての詳細はホームページを参照してください。

- 佐賀 治夫 日本アイ・ピー・エム
- 谷口 擴朗 住友銀行
- 松倉 哲 富士ソフトウェア
- 岩松 廣行 三井物産
- 宮下 博文 信越化学工業
- 松井 弘志 伊藤忠商事
- 山田 晃司 新日本製鐵
- 木村 清隆 日産自動車
- 飯島 健 阪急電鉄
- 橋本 孝久 日本興業銀行
- 鷺山 幾男 日本電信電話公社
- 菅村 登 蝶理
- 石河 正樹 安田火災海上保険
- 遠藤 昭夫 近畿日本ツーリスト
- 蔵多 得三郎 日本放送協会
- 河井 興正 日本アイ・ピー・エム
- 小林 弘幸 みずほ信託銀行
- 大木 進 東京三菱銀行
- 大段 和廣 富士ゼロックス
- 米田 敬智 日本興業銀行
- 吉川 文康 電通
- 海老原 正徳 日本勧業銀行
- 赤司 一郎 安宅産業
- 富沢 進 丸紅
- 小泉 滋 三菱商事
- 佐谷 信 新日本石油
- 東松 文雄 東京地方裁判所
- 高橋 幹雄 日本アイ・ピー・エム
- 米倉 有三 第一相互銀行